

平成23年度(2011年度) 建設コストの計画と実績

[単位:百万円(消費税込み)]

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成22年度まで (B)	平成23年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
中 日 本 高 速 道 路 網	近畿自動車道敦賀線 小浜IC~敦賀JCT新設事業	220,000	873	252	1,125	△ 218,874	本線工事の完成は平成26年度を予定している。平成23年度は敦賀JCTを一部施工し、引渡しを行っている。
	中央自動車道富士吉田線 元八王子地区(下り線)改築事業	2,537	0	2,163	2,163	△ 373	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も附帯工事・財産整理及び完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等により、差額が生じたもの。
	中央自動車道富士吉田線 八王子JCT(南側)改築事業	8,540	0	6,622	6,622	△ 1,917	施工方法の見直し等による減、開通後も立入防止柵の設置等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	中央自動車道富士吉田線 都留IC改築事業	1,054	0	401	401	△ 652	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	第二東海自動車道横浜名古屋線 東海JCT新設事業	8,618	0	7,274	7,274	△ 1,343	工事等数量の確定により差額が生じたもの。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 高尾山IC~八王子JCT新設事業	34,809	0	19,599	19,599	△ 15,209	施工方法の見直し等による減、開通後も仮柵柵の撤去等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	中央自動車道富士吉田線等 平成23年度修繕事業	29,142	-	19,580	19,580	△ 9,562	震災等の影響及び発注規模の大型化による複数年度工期設定等に伴う機構引渡し時期の見直しにより、差額が生じたもの
	中央自動車道富士吉田線等 災害復旧事業	50,158	7,925	5,626	13,552	△ 36,605	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績をもとに45年分の額を債務引受限度額として設定している。平成23年度は、平成19年、22年及び23年の台風で被災した箇所 <sup>1)</sup> の災害復旧工事が完了した <sup>2)</sup> 点検結果等により、差額が生じたもの
	一般国道1号(箱根新道) 平成23年度修繕事業	308	-	289	289	△ 19	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等により、差額が生じたもの
	一般国道16号(八王子バイパス) 平成23年度修繕事業	46	-	35	35	△ 11	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等により、差額が生じたもの
	一般国道139号(西富士道路) 平成23年度修繕事業	58	-	41	41	△ 16	点検結果等により、差額が生じたもの
	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道 路)) 平成23年度修繕事業	154	-	2	2	△ 151	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等により、差額が生じたもの

注1) 平成23年度(2011年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□ は、平成23年度に完了している事業である。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3) 修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成23年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成22年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。